

平成 29 年度地域リハビリテーション従事者研修会
老人性難聴者とのコミュニケーション向上研修開催要領

1 目的

高齢になると、感覚器官の衰えが目立つようになり、中でも聴力が徐々に低下する老人性難聴の方々が増えてくる。難聴は、本人にとっては、聞き間違いや周囲とのコミュニケーションに不自由さや不安を感じるようになるだけでなく、心理的社会的孤立を生み出す要因にもなりかねない。

また、周囲の方にとっても、会話が成立しているかどうか不安を抱えてしまうことや、聞き返しの多さや音量の大きさに対しては、お互いにストレスさえ感じる場合もある。

そこで、自宅等で療養生活を送られている高齢者の支援に関わることが多い介護従事者等が、老人性難聴について理解を深めて、高齢者との良質なコミュニケーション実現のための円滑な対応と支援の充実を図ることを目的に研修会を開催する。

2 主催

宮城県気仙沼保健福祉事務所

3 実施日時

平成 29 年 11 月 28 日（火）午後 6 時から午後 7 時 15 分まで

4 対象者

管内の居宅介護支援事業所職員
管内の指定訪問介護事業所職員
管内の訪問リハビリテーション事業所職員
管内の指定訪問看護事業所職員
管内市町の認定調査員
管内の地域包括支援センター職員

5 開催場所

宮城県気仙沼保健福祉事務所 2 階大会議室（気仙沼市東新城 3-3-3）

6 内容

講義「難聴の理解と対応方法について」

（予定している内容）

1. 音の物理
2. 聴覚の構造
3. 電話の構造と電話での会話
4. 難聴のメカニズム
5. 老人性難聴の特徴
6. 老人性難聴になると、聞き分け難くなる言葉について
7. 老人性難聴者との接し方

講師：宮城県リハビリテーション支援センター 技術主査 佐々木千尋 氏（言語聴覚士）

7 定員：30 名程度

定員を超過した場合は、参加できない場合があります。

8 受講料

無料

9 申し込み

別紙様式により平成 29 年 11 月 22 日（水）まで当所あてファクシミリにて申込願います。

10 問い合わせ

宮城県気仙沼保健福祉事務所 成人・高齢班 粟津

TEL：0226-22-6614 FAX：0226-24-4901